

09

JULY
2025

GRASS NEWSLETTER



I Society for Human Ecology 学会セッション報告

2025 年 6 月 19 日に、ベルギーのモンス大学にて開催された国際学会 *The XXVI International Conference of the Society for Human Ecology* において、GRASS が企画したセッション *Revitalizing Abandoned Lands to Address Biodiversity Loss and Agricultural Challenges in Japan and Europe* を開催しました。本セッションは、GRASS の Geetha Mohan 教授と Shishir Sharmin 助教に加え、信州大学に異動後も GRASS の研究に深く関わっている楊潔さん、GRASS と交流協定を結んでいる Estonian University of Life Sciences の若手研究者たちが参加し、GRASS の国際的なネットワークを活かした日欧共同のセッションとなりました。

まず、GRASS での在外研究経験のある Aki Kadulin さん(Estonian University of Life Sciences)は、エストニアの半自然草地における耕作放棄の社会・経済的要因とそれが生物多様性に与える影響について報告し、Mylene Martinez さん(Estonian University of Life Sciences)は耕作放棄による生息環境の変化がクモやオサムシなどの土壤動物に与える影響について報告しました。続いて、Shishir Sharmin さんが富山県における気候変動や人口減少などの要因が稲作へ及ぼす影響について発表し、Geetha Mohan さんが企業による富山の耕作放棄地の再活用事業の実態とそれが地域社会へ及ぼす影響について紹介しました。最後に、楊潔さんが豪雨や早魃などの極端気象イベントの頻発と人口移動・土地利用変化の長期的な関連性について報告しました。



写真) セッション参加者との研究交流

本セッションには 20 名以上の聴衆が集まり、特に人口減少地域における耕作放棄のメリット・デメリット、再活用事業の可能性と課題について、活発な意見交換が行われました。異なる地域の研究者の知見を共有しあい、文理融合的で互いに良い刺激を受けるセッションとなりました。企画から実施まで責任をもってやり遂げた Geetha Mohan さんに拍手を送ります。

II 稀少在来種の保全に取り組むマイルズさん

GRASS の Peterson Miles Isao 助教が、日本生態学会 Ecological Research 論文賞を受賞し、札幌で 3 月に開催された第 72 回日本生態学会大会において表彰されました。受賞対象論文は、Miles I. Peterson, Satoshi Kitano, Shoichiro Yamamoto, Tomohiro Kando, Yoshiaki Tsuda. (2023) Species-specific foraging behavior and diets of stream salmonids: An implication for negative impacts on native charr by nonnative trout in Japanese mountain streams. *Ecological Research*. Vol. 39, No. 2, pp. 169-181. Doi: 10.1111/1440-1703.12419 です。

Peterson Miles Isao 助教らの研究グループは長野県上高地に生息する外来マス類（ブラントラウト、カワマス）と在来イワナの種間競合関係を調べました。カワマスはイワナと食性及び環境の生態的地位が重なるため競争の影響が、ブラントラウトはイワナへの捕食の影響が確認され、これらの影響がイワナの減少につながっているとする研究が高く評価されました。



写真) 野尻湖を背景にマイルズさんとゼミのみなさん

マイルズさんの研究は、水生外来生物の定着プロセスとその生態系影響、そして、稀少在来種の保全です。稀少在来種の保全は外来種の徹底した駆除を行うという考え方に行き着きがちですが、徹底した駆除というのが難しいところも多くあり、共存可能な環境作りもまた考えなければならない状況です。最近では、岐阜県の長良川で北米原産の外来魚コクチバスが見つかり、漁業や観光業への影響が懸念されています。2025 年 7 月 7 日付けの中日新聞では、長良川の生態系を脅かすコクチバスの特集が組まれ、様々な駆除が試みられているものの、長良川のような大きな 1 級河川では完全な駆除が難しいと結論づけていました。マイルズさんは、中日新聞から取材を受けて、コクチバスが水深の深い湖や川で定着すると完全な駆除は難しく、水草の多い場所の方が在来魚がコ

クチバスの攻撃を避けやすいという野尻湖での研究成果から、「水辺の環境を整えることが在来種の保護には重要だ」と指摘していました。日本の在来種の保全に取り組むマイルズさんの研究に目が離せません！



写真) 野尻湖で調査中のマイルズさん

III GRASS Global Research Seminar

GRASS では、Global Research Seminar Series として、世界各国から先端研究を行う気鋭の研究者をお招きして、セミナーを開催しています。このセミナーには、本学大学院持続可能社会創成学環の院生たちも参加し、文理を越えた様々な研究に接する機会を提供しています。

本年度前半では、まず、Amazing Arctic Plants と題して、UiT the Arctic University of Norway の Elisabeth Cooper 教授が 2025 年 5 月 7 日に Global Research Seminar で講演を行いました。北極圏の植物の秘密について、興味深いお話が院生たちを喜ばせました。



写真) Elisabeth Cooper 先生を囲んで

また、2025 年 6 月 20 日には、広島大学平和な未来持続可能性センター (CEPEAS) の Khan Ghulam Dastgir 助教が GRASS を来訪し、Global Research Seminar において Drought and Climate Resilience of Smallholders in Afghanistan と題する講演を行いました。



写真) Khan Ghulam Dastgir 助教の講演

Khan Ghulam Dastgir 助教は、すでに何度も GRASS を訪問されていて、それがご縁で現在広島大学 CEPEAS と GRASS との間で部局間交流協定を結ぶ話し合いが始まっています。

GRASS NEWS

【イベント・往来】

2025 年 5 月 7 日：Elisabeth Cooper 教授が Global Research Seminar にて、Amazing Arctic Plants と題する講演を行いました。

2025 年 6 月 20 日：広島大学平和な未来持続可能性センター (CEPEAS) の Khan Ghulam Dastgir 助教が、Global Research Seminar にて、Drought and Climate Resilience of Smallholders in Afghanistan と題する講演を行いました。

【GRASS スタッフの活動】

Geetha Mohan・Shishir Sharmin：2025 年 6 月 18-21 日、ベルギー・モンス大学にて開催された国際学会 *The XXVI International Conference of the Society for Human Ecology* に参加し、GRASS が組織したセッションを開催しました (本文参照)。

堀江典生：2025 年 6 月 29 日、北西学院大学 (札幌市) で開催された比較経済体制学会第 65 年全国大会において「移民大国ロシアと『近い』『遠い』外国」と題する研究発表を行いました。

Geetha Mohan：2025 年 8 月から 10 月まで Estonian University of Life Sciences 在外研究を行います。

【New articles】

Peterson, M. I., Kondo, Y., Wada, N., Tsuda, Y., & Kitano, S. (2025). Benefits of Aquatic Vegetation for Fish in an Ecosystem Dominated by an Invasive Piscivore. *Freshwater Biology*, 70(5).

Biswal, P., Faisal, A., Tripathy, S., Swain, D. K., Jha, M. K., & Mohan, G. (2025). Influence of drip irrigation and straw mulching on economic feasibility and soil fertility of rice-potato system in subtropical India. *Irrigation Science*, 43(3), 363-376.

Wadumestriga Dona, C. G., Fukushima, K., & Mohan, G. (2025). Reusing treated wastewater and biosolids in urban agriculture: Social feasibility of a decentralized approach for underserved settlements. *Environmental Challenges*, 19.

Avishek, K., Singh, P. D., Kanungo, A., Kumar, P., Chakraborty, S., Singh, S. K., Kanga, S., Meraj, G., Sajan, B., & Gupta, S. K. (2025). Human Comfort and Environmental Sustainability Through Wetland Management: A Case Study of the Nawabganj Wetland, India. *Earth (Switzerland)*, 6(1).

Nathawat, R., Gupta, S. K., Kanga, S., Singh, S. K., Chakraborty, S., Marazi, A., Sajan, B., Abouleish, M. Y., Meraj, G., Ali, T., & Kumar, P. (2025). Urban Green Infrastructure Planning in Jaipur, India: A GIS-Based Suitability Model for Semi-Arid Cities. *Sustainability (Switzerland)*, 17(6).

